

お六のパーワーデーとうしゅう

桜川市立雨引小学校三年 安田航太郎

「航太郎、ごはんとパンど、うにする。」

母朝お母さんはぼくに聞く。

「もちろんごはん。」

もう一年ぐらいい、ぼくはいつもそう答えてい  
る。な、豆ごはんもたま、ぶがけごはんも大好  
きだ。パンもきらいなわけじゃ、ないけれど、  
お米を朝食やるとあついい日も二十日の道を元  
気に学校まで歩ける。

ぼくの家には田んぼが二つある。お父さん  
は田うえといねかりを近所の人におねがいし  
ていけるけど、それがいはいは自分でお米をそだ  
たがなかいそがしそうだ。ぼくはお父さんが  
トラクターをやる日におにぎりをもつて田ん  
ぼに行ったり、田うえやいねかりのとき様子  
を見にいたりする。二年生の秋も、いつも  
のようになねかりを見に行きた。金色のイネ  
がゴンバインにすりつまえていくのを見てい

2 たら、なんといねがいをしてくるおじさんが手まねきしてコンバインにのせてくれた。

「ががががが・・・」

コンバインが近づくと、イネは急にイワイヤをすろみたいにあばれて、のびこまれていた。海みたいな大きなけしきだった。けいトラックにのせられるお米の山をみて、おいしいお米がたくさんできたことがうれしくておくあくした。

だから、今ぼくたち家族が毎日食べている

お米は、お父さんが育ててぼくがかりがかりしたお米だ。ぼくはのびたりしたお米、毎朝あかりする。

今年ももうすぐおかりだ。おいしいお米がとれるのが今年も楽しみだ。おかりが終ったたら、デコボコの田んぼでお父さんに教えてもらう。運動会のひまわりと、くんをしようと思う。お米のパワーでぎゅと今年はーとうしょうをとると信じている。